

平成17年度試験研究成果書

区分	普及	題名	水稻品種「どんぴしゃり」の期待生育量と栽培法		
<p>[要約] 水稻品種「どんぴしゃり」の高品質・安定生産に向けた期待生育量は、m^2当たり穂数 340 ~ 430 本、同籾数 25 ~ 30 千粒、登熟歩合 90 % 以上、稈長 80cm 前後、この時の収量 (1.9mm 篩) は 540 ~ 600kg/10a である。窒素施肥量は「あきたこまち」よりやや多い成分で 7kg/10a を上限、追肥は幼穂形成期に 2kg/10a 以内とする。刈取り適期の目安は、出穂後積算温度で 950 ~ 1,050 である。</p>					
キーワード	どんぴしゃり	良質米生産		農産部	水田作研究室

1 背景とねらい

平成 17 年度に奨励品種に採用された水稻品種「どんぴしゃり」は、食味・耐冷性に優れ、穂いもち抵抗性が高い特性を有しており、中生品種の作柄安定や特別栽培米など特徴ある米作りに向けた導入・拡大が期待されている。

そこで、高品質・安定生産に向けた「どんぴしゃり」の栽培法を検討する。

2 成果の内容

(1) 期待生育量

どんぴしゃりの高品質・安定生産に向けた期待生育量は以下の範囲とする。(図 1, 2, 表 1)

収量水準 <1.9mm 篩> (kg/10a)	穂数 (本/ m^2)	一穂 籾数 (粒)	m^2 籾数 (千粒/ m^2)	玄米千粒重 <1.9mm 篩> (g)	登熟 歩合 (%)	稈長 (cm)
540 ~ 600	340 ~ 430	65 ~ 75	25 ~ 30	23.3 ~ 24.5	90 以上	80 前後

(2) 施肥法

ア 籾数がやや確保しにくいことから、基肥窒素量は「あきたこまち」よりやや多い窒素成分で 7kg/10a 程度とし、追肥は幼穂形成期に窒素成分で 2kg/10a 以内とする。(図 3, 4)

イ 耐倒伏性は“強”であり、これまで倒伏はほとんど見られないが、玄米品質を低下させないよう多肥栽培は行わない。(図 2)

(3) 刈り取り適期

出穂後成熟期までの日平均気温積算温度は、概ね 950 ~ 1,050 である。(図 5)

3 成果活用上の留意事項

(1) 成熟期の目安は、黄化籾割合で 80% 程度とする。出穂後積算温度が 1,100 を超えると茶米や背黒粒などの被害粒が増加するので刈り遅れに注意する。

(2) いもち病抵抗性は、葉いもちが“やや弱”なので基本防除は必ず実施すること。

4 成果の活用方法等

(1) 適用地帯又は対象者等

「どんぴしゃり」の栽培適地 約 23,000ha (栽培目標面積 3,000ha)

(盛岡以南の北上川流域標高 100 ~ 200m 及び宮古以南の沿岸部標高 100m 以下)

(2) 期待する活用効果

「どんぴしゃり」の良質安定生産

5 当該事項に係る試験研究課題

(58-4000) 水稻粳有望新系統「岩手 68 号」の栽培特性 [H16-18、県単]

(58-5000) 水稻粳新品種「岩手 68 号」の栽培法 [H17-18、県単]

(803) 水稻奨励品種決定調査 [H14-22、県単採種]

6 参考資料・文献

(1) 岩手県農業研究センター 平成 16 年度試験研究成果書

「品種 耐冷性・耐病性に優れる良質・良食味 中生粳水稻「岩手 68 号」」

(2) 岩手県農業研究センター 平成 15 ~ 16 年度水田作研究室試験成績書 (一部未定稿)

7 試験成績の概要 (具体的なデータ)

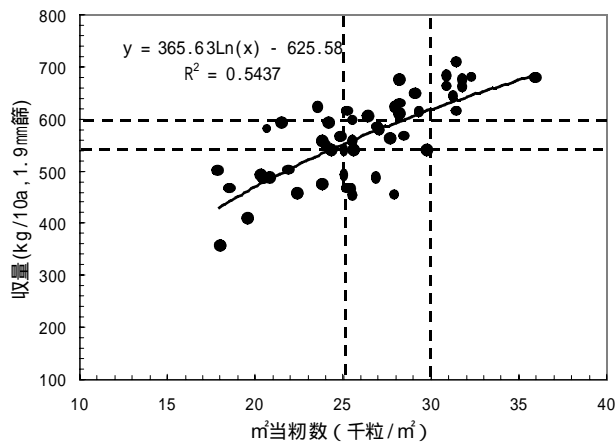


図1 m²当初数と収量 (1.9mm 篩, H16 ~ 17)

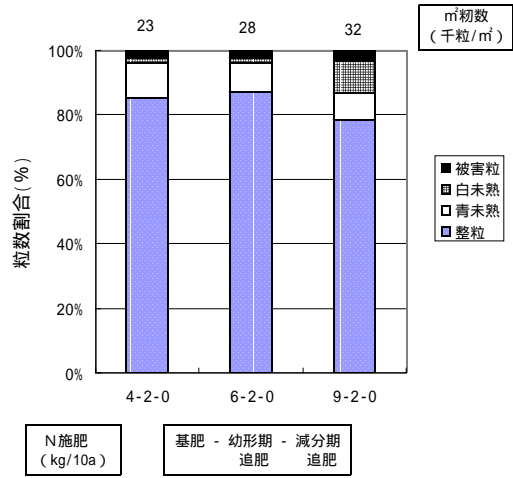


図2 施肥量と玄米品質 (H16)

表1 期待収量及び期待m²当初数からみた構成要素 (H16-17、n=9)

項目	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m²)	一穂 初数 (粒)	m²当 初数 (千粒)	1.9mm 千粒重 (g)	登熟 歩合 (%)	精玄 米重 (kg/a)
平均	81.8	18.0	395	69.2	27.2	23.8	93.6	56.7
標準偏差	5.3	0.6	29	5.8	1.5	0.8	3.9	1.6
平均-標準偏差	76.5	17.5	366	63.4	25.7	23.0	89.7	55.1
平均+標準偏差	87.2	18.6	424	75.0	28.7	24.6	97.5	58.4

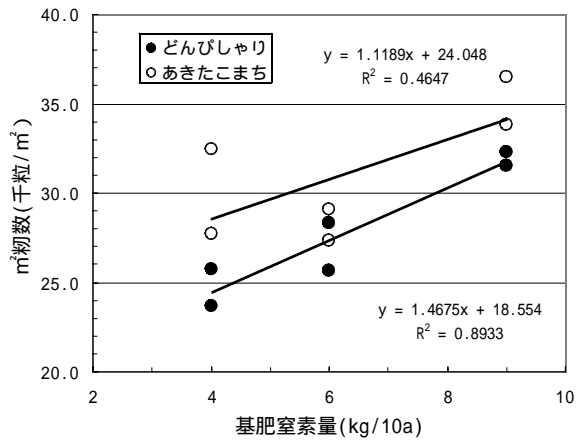


図3 品種別基肥窒素量とm²当初数
(H16 ~ 17, 幼形期追肥 N 成分 2kg/10a)

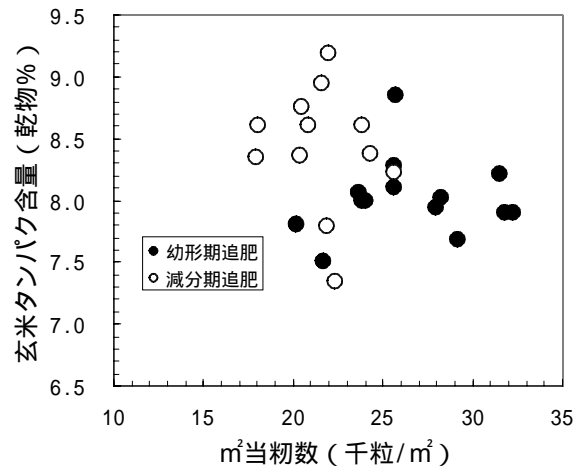


図4 m²当初数と玄米タンパク含量 (H15 ~ 17)

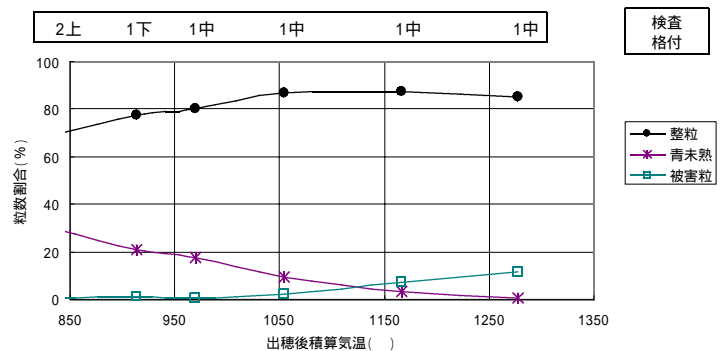


図5 刈取時期別の玄米品質推移 (H16)

(補足資料)

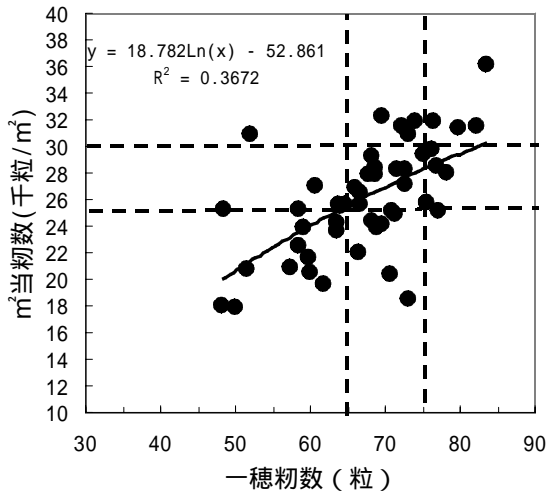


図6 m²当り粒数と一穂粒数 (H16 ~ 17)

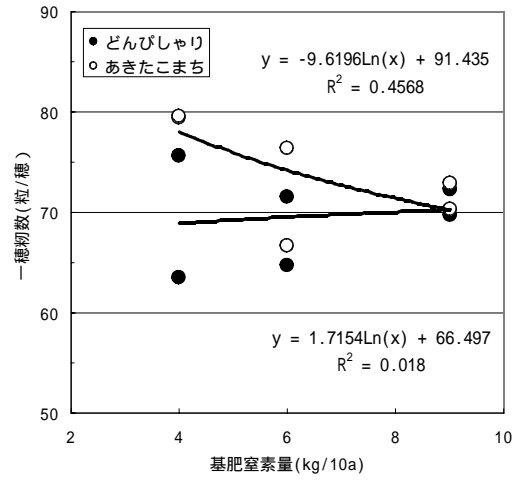


図7 品種別基肥窒素量と一穂粒数
(H16 ~ 17, 幼形期追肥 N 成分 2kg/10a)

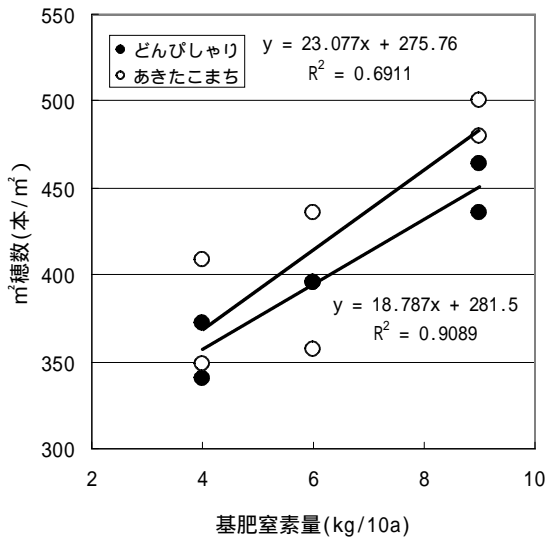


図8 品種別基肥窒素量とm²穂数
(H16 ~ 17, 幼形期追肥 N 成分 2kg/10a)

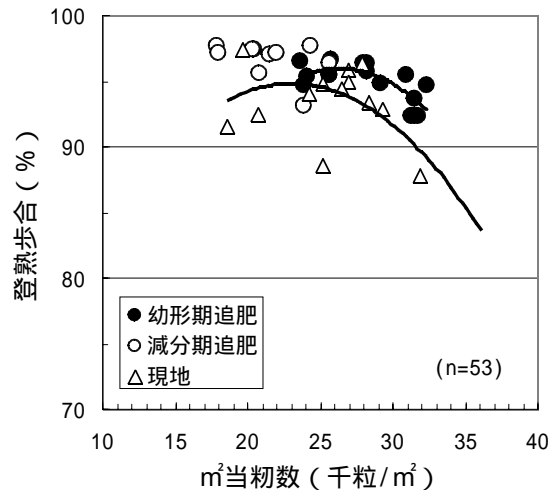


図9 m²当り粒数と登熟歩合 (H16 ~ 17)

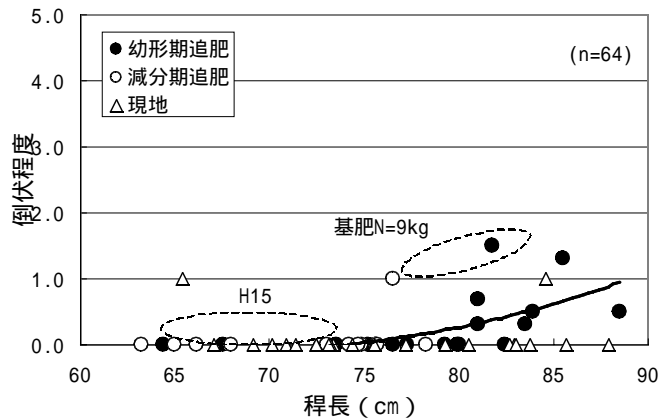


図10 穂長と倒伏程度 (H15 ~ 17)